

ラベルニュース

東京都ラベル印刷協同組合

☎111-0051 東京都台東区蔵前 4-16-4

平成 26 年 6 月号

編集:広報・情報システム委員会

TEL(3866)4561 FAX(5821)6443

第 48 回通常総会を開催

組合員加入に全力で取り組み誓う



各議案が承認された第 48 回通常総会

平山体制二年目の真価問われる年に

一社ではできない事を数の力で

今こそ組合の原点に立ち返る時

組合の第四十八回通常総会は、五月二十一日（水）午後四時半より、日暮里のホテルラングウッドにおいて可開催され、第一号議案の平成二十五年事業報告と決算、第二号議案の平成二十六年事業計画と予算案などすべての議案が満場一致で承認され、平山体制の二年目がスタートを切りました。

総会は森田理事の司会で初めに出席状況報告の後議長に渡邊正一顧問を選出して議案の審議に移りました。

「組合員の減少、収支の困難などが問題視され、今年度はそのための対策が必要で、止むを得ない理由で退会するのは致し方ないとしても、新たな参入がないのが問題です」と、組合員の減少問題に触れました。

第一号議案・平成二十四年度事業報告及び決算関係書類承認の件は、本間敏道専務理事が原案を朗読し、満場一致で可決承認、第二号議案・平成二十五年事業計画、収支予算並びに経費の賦課及び徴収方法決定の件で本間専務理事が、貸借対照表及び財産目録を朗読し、続いて坂内仁英理事が監査報告(代理)を行い、満場一致で可決承認されました。

第三号議案・平成二十四年度における借入れ金額の最高限度額決定の件については、従来どおり二千万円としたいと説明があり、第四号議案・役員報酬決定の件でも従来どおり支給しない旨を説明し、いずれも満場一致で可決承認され、総会は無事終了しました。

「組合員の減少、収支の困難などが問題視され、今年度はそのための対策が必要で、止むを得ない理由で退会するのは致し方ないとしても、新たな参入がないのが問題です」と、組合員の減少問題に触れました。

さらに「近年災害時の企業活動の再開、BCP計画が話題になっていますが、我々中小企業事業者では危機感はあるものの、この計

画は策定できません。幸い当組合は北海道と九州の組合と『緊急時相互委託生産協定』を結んでいますので、これを延長し具体的な行動に結び付けるべく中小シール印刷業者向けのBCP計画雛形を作成し、これを組合員にリリースいたします。

これにより難しいBCP計画も容易に取り組むことが出来るようになりました。この取り組みは先進的な事例としてマスコミでも取り上げていただきましたが、組合に加盟すればこのようなメリットもあることを業界に知っていただき、加入企業を増やしていきたいと考えています」と、組合の具体的な活動を紹介しました。



90名が参加して盛り上がった懇親会

続いて来賓として、東京都中小企業団体中央会総務課長の橋北隆氏と協賛会会長の内昭彦氏が、それぞれ祝辞を頂戴し、山本進平相談役の音頭で乾杯し、和やかな歓談が繰り広げられ、最後に松本一男相談役の三本お開きとなりました。

Ⅰ 事業方針

今年の春闘では久しぶりにベースアップという言葉を

聞くことになったが、4月1日からは消費税が5%から8%に上がり、せっかくの消費意欲に水を差すのではという懸念もあり、さらに税制の大幅な見直しによって増税となり、決して喜んではばかりはいられない

というのが現状である。今年度の政府予算は9.5兆円を超える過去最大規模の予算額となっているが、その歳入の43%が国債、つまり借金に頼っていることになる。今年度末には国債の残高は780兆円という天文学的な数字になり、国民一人当たり615万円の借金があるという計算になる。これを月収30万円の家計に

たとえと、1か月当たり23万円の借金をして、毎月の家計を成り立たせていることになり、5,143万円強のローンを抱えていることになる。「アベノミクス」というマジックに踊らされているだけで、だれが考えてもこんな財政が長続きするわけはなく、ツケを後世の世代に先送りし、いずれ破たんすることは目に見えている。

組合では昨年BCP(事業継続計画)の一環として、「緊急時相互委託生産協定」を、北海道シール印刷協同組合と九州シール印刷協同組合との間で締結、有事の際の組合員の代替生産拠点の確保に努めた。

これは印刷業界として全国初の試みとして新聞紙上でも大きく取り上げられたが、今年度は小規模・零細企業向けのBCP(事業継続計画)簡易版の作成に取り組み、組合員への配布を予定している。2年前から取り組んだ『品質標準化』の問題もその後各協組に広がり、連合会へ問題提起をした。BCP

の問題や従業員の健康管理の問題など、組合として取り組まなければならない課題は山積している。

各協組として取り組み課題や、連合会として取り組まなければならない課題も多い。ラベルコンテストや年次大会だけではなく、いま本当に組合員が困っている課題に真剣に取り組みよう、今後も連合会改革に注文を付けていきたい。

Ⅱ 実施事業

1. 技術・環境対策委員

新技术、新商品の積極的な開発と環境問題、リサイクル化に取組む

①ラベル関連ミニ機材展の開催

②RPF化によるリサイクル化事業のさらなる普及・啓蒙

③従業員の健康管理など職場環境の改善を促す。

④デジタルプリンターなどに関する研修会の開催。

2. 教育・経営委員会
経営者と従業員の意識改革と、資質の向上を目的にした各種事業を実施する。

① 事業承継などについて経営者を対象にした勉強会の開催。

② 人材の育成を目指した、経営者、従業員対象のセミナーの開催

③ シール印 刷グリーンプリンティング(GP)認定制度取得の支援

3. 広報・情報システム化委員会

組合員に対し迅速な情報の提供と、組合事業の広報活動を積極的に行い、多様な情報化時代への対応をはかる。

① 組合機関紙『ラベルニュース』のよりいっそうの紙面充実をはかる。

② 組合ホームページの内容について、大幅な見直しとその活用方法の研究

③ 金融情報や東京都などの助成金情報の迅速な提供をはかる。

4. 福利厚生・事業委員会
組合員および従業員の福利厚生に関する各種事業と、組合財政基盤強化のために新たな詩行収入の道を探る。

① 従業員対象のメンタルヘルス対策の徹底

② 組合研修旅行の実施

第15回青年部通常総会開催

他協組との連携をさらに強化
異業種交流などにも力を



と組合員、従業員を対象にした福利厚生事業の充実

③ 雄型用紙、副資材等、組合取扱商品の使用方法を組合ホームページで紹介

④ 組合オリジナル取扱商品の調査・研究に努める。

5. BCP策定特別委員会

① 大規模地震等災害時における危機管理システムの構築。

② 緊急時相互委託生産協定のマニュアル作りの推進。

③ 小規模・零細企業向けのBCPハンドブックの作成と配布。

青年部の第三十回通常総会は、五月十五日(木)午後六時半より、台東区上野の「グリーンパーク」に於いて開催されました。

藤井雅一理事の司会で初めに川端信夫部長が慎重審議をお願いしますと挨拶し、議長に川端部長を選出し議案の審議に入りました。

第一号議案・平成二十五年事業報告(川端信夫)、第二号議案・平成二十五年会計報告(北島憲高)、第三号議案・監査報告、第四号議案・平成二十六年事業計画案(川端信夫)、第五号議案・平成二十六年予算案(弓納持大輔)のすべて

の議案が承認されました。

総会終了後懇親会に移り、藤井崇徳理事の司会で川端部長が「この一年皆さんの協力のお蔭で頑張ってくださいでしたが、また一年よろしくお願います」と挨拶、続いて来賓として親組合の平山良一理事長が「今回初めて青年部の総会に出席させて頂きましたが、こんなにも素晴らしい青年部員が沢山いることに勇気づけられました。今後も親組合と一緒に頑張ってほしい」と祝辞を述べました。

本間敏道専務理事の音頭で全員が乾杯し、和やかな懇談が繰り広げられました。

事業方針

1. 青年部の活動促進、部員相互の交流
 2. 他協組青年部との研修及び交流
 3. 定期的な勉強会・研修会の開催
 4. 印青連を通じて同業種、異業種との交流
 5. インターネットを通じた情報交換や交流
- (Facebookなど)

■怖い高齢者の肺炎

肺炎による死亡順位は、最近の優れた抗生剤の出現にかかわらず、この数十年間第四位で変化がありません。それは高齢者の肺炎の死亡率が高いからです。昨日まで何となく元気ないように見えていただけの高齢

■高齢者の肺炎の特徴と

注意点

高齢者肺炎の特徴と注
意点は、

- (1) 肺炎症状が乏しく、症状が非定型的であるため診断・治療が遅れがちになること、
- (2) 高齢者肺炎には肺結核が混在していること、
- (3) すでに他の病気(糖尿病や心疾患など)に罹っている人が多いので、潜在的な肺炎発症因子や増悪因子を持つているため肺炎が急速に重症化すること、
- (4) 原因として気付かない誤嚥性肺炎が多いこと、などが挙げられます。

NO 125

健康がいちばん

高齢者の肺炎、死亡原因の3位

65歳以上はワクチンの接種を

■高齢者肺炎の症状

者が急に呼吸困難に陥って重症肺炎と診断されることや、呼吸器の症状が全くないのに肺炎と診断されることがあります。それは何故でしょう

高齢者肺炎では、発熱、咳、痰など肺炎に随伴する

症状がないか、あっても軽

微なものに止まる症例が四

〇%程度に見られます。ま

た、食欲不振や意識障害な

ど一見肺炎と関係のない症

状で見つかることがあります。

■高齢者では咳の出ない肺炎も多い

肺炎の初発症状として

の咳・痰の頻度は高齢者では一般成人に比べ約二〇%程度低いと言われています。六五歳以上の肺炎患者では初発症状としての咳は約四〇%の症例で認められないと言われています。

■六十五歳を過ぎたら肺炎の予防注射を

そこで、ワクチンにより、病気をあらかじめ予防することが以前にも増して大切になってきています。

現在、肺炎球菌感染症を予防するワクチンとしては、二歳以上で肺炎球菌疾患にかかるリスクが高い人および高齢者を対象とした二価肺炎球菌多糖体ワクチン

と、二ヶ月齢以上六歳未満の小児を対象とした一三価肺炎球菌結合型ワクチンの二つが発売されています。

このワクチンは一回の接種で肺炎球菌の二三種類の型に対して免疫をつける

ことができます。現在九〇

種類以上の肺炎球菌の型が報告されていますが、この二三種類の型で成人の肺炎球菌による感染症の八〇%以上がカバーできます。

しかし、免疫が未熟な乳幼児では、多糖体を有効成分としたこのワクチンでは必要な免疫反応を引き起こすことができません。

接種対象者は、二歳以上で肺炎球菌による重い疾患にかかる危険が高い人です。個人差がありますが、一回の接種で五年以上の効果が期待できます。

接種には六千円から八千円程度費用が掛かりますが、自治体によっては申請すると二千円から三千円程度補助を受けられるので、最寄りの自治体にお問い合わせください。

《引用資料》

<http://matome.naver.jp/odai/2138052274336553101?page=2>

[http://www.csnt.co.jp/he](http://www.csnt.co.jp/health/det/080701/)

[alth/det/080701/](http://www.csnt.co.jp/health/det/080701/)

サラリーマン川柳 シルバー川柳
大いに笑ってください!

笑えばキラー細胞が活発に

見習え LED

■何かをね 忘れた
ことは 覚えてる

るが口減らず

■症状を言えば言う
程薬増え

入れるとテレビつく

今年度サラリーマン

川柳上位一〇選

7位

やられたら やり返せ
るのは ドラマだけ

シルバー川柳

■孫が聞く膝が笑う
とどんな声?

■本性が出ると言う
からボケられぬ

■お医者様パソコン
見ずにオレを診て

大賞
うちの嫁 後ろ姿はフ
ナッシー

8位

「オレオレ」に 爺
ちゃん一喝 「無礼者！」
だった朝忘れ

■寝て練った良い句
■「先寝るぞ」「安ら
かにね」と返す妻

■メイドカフェ? 冥
土もカフェがあるんか
え?

2位
もの忘れ べんりな言
葉 「あれ」と「それ」

9位

いつやるの? 聞けば
言い訳 倍返し

■ひ孫の名読めない
書けない聞きとれない

■耳遠くオレオレ詐
欺も困り果て

3位

妻不機嫌 お米と味噌
汁 「お・か・ず・な・
し」

10位

わんこより 安い飯
代 ワンコイン

■欲しかった自由と
時間持て余す

■子は巢立ち夫は旅
立ち今青春

4位

帰宅して うがい手洗
い 皿洗い

過去の優秀作品

■お迎えは何時でも
良いが今日は嫌

■検査あと妻のやさ
しさ気にかかり

5位

おもてなし 受けてみ
たいが あてもなし

■いい夫婦 今じゃ
どうでも いい夫婦

■金貯めて使う頃に
は寝たつきり

■白内障術後びつく
りシミとシワ

6位

「イイネ」には 「ど
うでもイイネ」が 約五
割

■電話口 「何様です
か?」と 聞く新人

■欲しい物今じゃ優
しさだけになり

■期限切れ犬にやら
ずにオレに出す

■すぐキレル 妻よ

■骨が減り知人も減

■暑いのでリモコン

なるほど・ぞい・新製品

グラフィテック株式会社
(本社：神奈川県横浜市)
代表取締役社長 佐々木秀吉
は、この度「少量ラベルを高品質に、工場・オフィスで欲しいときに何時でも簡単ラベル作成」をコンセプトにカラープリント、ラミネート仕上げ、フリーサ

「LABELROBO LCX1000」シリーズ

デジタルラベル作成システム

多彩な後加工機「DLC100」もセット



イズカット、かす上げ機能を有するラベル作成システムとして販売を展開する「LABELROBO LCX603」の上位機種として、デジタルラベル作成システム

LABELROBO LCX1000」を開発しました。

今回発売開始します新製品 「 LABELROBO

LCX1000」は、多様化するラベル市場に対して「高生産、低コスト、フリーデザイン、フルカラー、そして欲しいときに何時でも簡単ラベル作成」をコンセプトにカットインングプロッタ市場でのリーディングカンパニーであるグラフィテック社のカットインング技術と高速鮮明な印字品質・多様な用紙適正・優れた印字耐候性能に加え、低ランニングコストで定評のある電子写真方式の新開発プリンティング技術とを融合させた、本格的なデジタルラベル作成システムです。

同機は、お客様のニーズと生産性を考え、高速・高耐久の電子写真方式のデジタルラベルフルカラープリンター「 LABELROBO DLP1000」と、ラミネー

ト仕上げ、フリー形状カット、かす上げ、スリット、巻き上げ機能のデジタルラベルフィニッシングカッター「 LABELROBO DLC1000」の2商品で構成されたシステム商品となっております。

必要なラベルを必要な時に、必要な枚数だけを作成することが出来、ラベル作成における課題、ラベルの在庫、外注費用、納期問題を解決し、最終工程であるオートラベラーへの受け渡しを可能にしたシステム構成となっております。

同機により、無地ラベル用紙からのフルカラーで且つ任意の形状でのラベル発行が自在に可能となります。特に、米国及びEU諸国において、2015年までの基準採用が義務付けられているGHS(化学品の分類及び表示に関する世界調和システム)ラベルへの要求条件を、完璧にクリアした画期的な商品となっております。

写真は LABELROBO1000

同機の仕様や詳細につ

いては、先のホームページにアクセスしてください。
https://www.graphotec.co.jp/topics/nr14_001.html